

施策番号	1224		
施策名	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築		
概要	子育てに関する情報提供や相談、また、地域全体の重層的な子育て支援のネットワークの充実など、子育て支援を求める家庭を社会全体で応援する体制を構築する。		
担当局	保健福祉局	共管局	教育委員会
上位政策	122 子どもを安心して産み育てる		

施策の評価

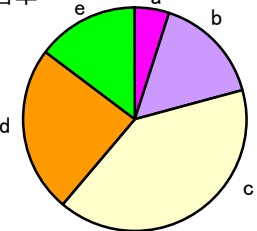
1 客観指標評価

	18年度	19年度	20年度評価				
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1 どもみらい館年間利用者数（人）	c	d	403,861	401,551	434,313	92.5%	c
2 地域子育て支援ステーションの相談件数（件）	b	b	5121	5660	5280	107.2%	a
3 子ども支援センターの相談件数（件）	a	a	1570	1773	1570	112.9%	a
4 地域子育てステーションの交流事業等実施回数（回）	a	a	6,947	10,672	6,947	153.6%	a
5 母子福祉センター（事業）利用者実績（人）	a	a	1,250	1181	1250	94.5%	b
6 -	-	-	-	-	-	-	-
7 -	-	-	-	-	-	-	-
8 -	-	-	-	-	-	-	-
9 -	-	-	-	-	-	-	-
10 -	-	-	-	-	-	-	-
	b	a	客観指標総合評価				a

2 市民生活実感評価

設問	子育てに不安を感じたときに気軽に相談できる場所があるので、心強い。					
回答	18		19		20	
	回答者数	回答率	回答者数	回答率	回答者数	回答率
a: そう思う	14	3.1%	13	3.1%	33	4.9%
b: どちらかというと思う	80	17.5%	79	18.7%	106	15.8%
c: どちらとも言えない	180	39.3%	183	43.4%	271	40.3%
d: どちらかというと思わない	123	26.9%	88	20.9%	164	24.4%
e: そう思わない	161	13.3%	59	14.0%	98	14.6%
有効回答数	458		422		672	
市民生活実感評価	C		C		C	

20回答率



- a: そう思う
- b: どちらかというと思う
- c: どちらとも言えない
- d: どちらかというと思わない
- e: そう思わない

* この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

3 総合評価（客観指標総合評価＋市民生活実感評価）

	18	19	20
客観指標総合評価	b	a	a
市民生活実感評価	c	c	c
総合評価	B	B	B
重み付け	(理由)		
<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標 <input type="checkbox"/> 市民の実感	対象者が子育て家庭に限定されており，市民生活実感に施策の効果が反映されにくいことから，客観指標評価を重視する。		

4 原因分析・今後の方向性

客観指標総合評価については昨年度と同様，a 評価であり，市民生活実感評価及び総合評価についても昨年度と同様の結果でそれぞれc, B 評価となった。

本市では，児童福祉センター，こどもみらい館をはじめ，各区に設置している子ども支援センター，おおむね学区毎に指定をすすめている地域子育て支援ステーションといった重層的な子育て支援体制を構築してきているが，市民生活実感評価は横ばいが続いている。今後，市民がより一層気軽に相談でき心強く感じていただけるよう，市民ニーズを分析し，より細やかな施策を立案していく。

（参考）この施策実現のための主な事務事業

	事業名	19年度予算 (千円)*	20年度予算 (千円)*	19年度事務事業評価に おける今後の方向性	担当部・課
1	乳幼児医療費支給事業	1,746,184	1,754,974	現状のまま継続	保健福祉局生活福祉部地域福祉課
2	あたらしいパパママ子育てふれあい体験事業	3,004	3,004	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
3	公営保育所地域活動事業	226,833	230,871	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部保育課
4	子どもネットワーク運営	96,060	95,626	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
5	地域子育て支援ステーション	48,170	50,020	充実	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
6	出産お祝いレター等お届け事業	6,822	6,822	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
7	母子寡婦福祉連合会補助	1,788	1,788	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
8	母子家庭つなぎ資金貸付	2,524	0	縮小等による見直し	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
9	母子福祉センター運営	18,121	18,667	充実	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
10	母子家庭自立支援給付金事業	50,549	43,121	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
11	母子寡婦福祉資金貸付事業事務	24,391	32,448	充実	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
12	母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計繰出金(事務費)	5,794	13,883	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課

13	ひとり親家庭日常生活支援事業	31,857	30,783	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
14	京都市子育て支援センターいきいきセンター（つどいの広場）事業	28,245	57,025	充実	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
15	子ども・子育ていきいきフェア	9,996	0	効率化等による見直し	保健福祉局子育て支援部児童家庭課
16	育児支援家庭訪問事業	71,310	68,414	現状のまま継続	保健福祉局子育て支援部児童家庭課 保健衛生推進室健康増進課
17	小・中学生就学援助費	1,329,813	1,326,672	現状のまま継続	教育委員会総務部調査課
18	京都市子育て支援総合センターこどもみらい館	333,394	311,509	効率化等による見直し	教育委員会こどもみらい館
合計		4,034,856	4,045,628		
うち、主たる事業の合計 （従たる事業の合計）		4,034,856 (0)	4,045,628 (0)		

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含む

施策名	1224	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築
-----	------	-----------------------

指標名	こどもみらい館年間利用者数（人）
-----	------------------

担当課	こどもみらい館	連絡先	254-5001
-----	---------	-----	----------

1 指標の説明

こどもみらい館に来館した年間利用者数

2 指標の意味

市民への子育て支援がどれだけできているかを示す指標

3 算出方法・出典等

毎日入場者をカウント

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	403,861	401,551	2,310人減	434,313	過去7年間の最高値	92.5%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	417,000	20年度	96.01%	過去7年間の利用者人数をベースに設定した

備考	-
----	---

5 評価基準

単年度目標値に対する達成度が、
a: 100%以上
b: 95%以上100%未満
c: 90%以上95%未満
d: 85%以上90%未満
e: 85%未満

6 基準説明

過去7年間の最高値以上を目標値とし、100%以上をa、以下5%刻みで按分した。
最高値 434,313（平成15年度）
最低値 373,955（平成12年度）

7 評価結果

18	19	20
c	d	c

指標名	地域子育て支援ステーションの相談件数（件）
-----	-----------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲げる京都子どもネットワークにおいて、地域レベルでの相談拠点となる地域子育て支援ステーションで実施する子育て相談に寄せられた相談の件数

2 指標の意味

子育てに関する身近な相談が行われていることを示す指標

3 算出方法・出典等

全地域子育て支援ステーション相談件数合計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	5121	5660	539件増	5280	過去5年間の最高値	107.2%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

最新の数値が
a: 過去5年間の最高値以上
b: 過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c: 過去5年間の上中間と平均値の間
d: 過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e: 過去5年間の下中間以下

6 基準説明

過去5年間の数値を基に、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値: 5,280（平成15年度）
平均値: 4,932
最低値: 4,544（平成14年度）

7 評価結果

18	19	20
b	b	a

施策名	1224	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築
-----	------	-----------------------

指標名	子ども支援センターの相談件数（件）
-----	-------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

新「京（みやこ）・子どもいきいきプラン」に掲げる京都子どもネットワークにおいて、行政区レベルでの相談拠点となる子ども支援センターに寄せられた相談の受付件数

2 指標の意味

子育てに関する総合相談が行われていることを示す指標

3 算出方法・出典等

全子ども支援センター相談受付件数合計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	1570	1773	203件増	1570	過去5年間の最高値	112.9%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準

最新の数値が
a：過去5年間の最高値以上
b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去5年間の上中間と平均値の間
d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明

過去5年間の数値を基に、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：1,570（平成18年度）
平均値：1,158
最低値：941（平成15年度）

7 評価結果

18	19	20
a	a	a

指標名	地域子育てステーションの交流事業等実施回数（回）
-----	--------------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市が指定している地域子育て支援ステーションにおいて、実施した交流事業等の回数

2 指標の意味

子育てに関する身近な支援機関で応援体制が整っていることを示す指数

3 算出方法・出典等

各地域子育て支援ステーションからの報告件数

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	17年度	18年度		数値	根拠	達成度
数値	6,947	10,672	3,725回増	6,947	過去5年間の最高値	153.6%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値	-	-	-	-	-	-

5 評価基準

最新の数値が
a：過去5年間の最高値以上
b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
c：過去5年間の上中間と平均値の間
d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明

過去5年間の数値を基に、過去5年間の最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：6,947（平成17年度）
平均値：3,340
最低値：715（平成13年度）

7 評価結果

18	19	20
a	a	a

施策名	1224	子育ての支援を求める家庭への応援体制の構築
-----	------	-----------------------

指標名	母子福祉センター（事業）利用者実績（人）
-----	----------------------

担当課	児童家庭課	連絡先	251-2380
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

京都市母子福祉センター米岡荘で実施している主な事業の利用者の延人数の合計

2 指標の意味

母子家庭の母等が母子福祉活動の拠点である母子福祉センターを利用できる機会の確保状況を示す指標

3 算出方法・出典等

母子福祉センター事業実績報告に基づき、主な事業の利用者の延人数の合計

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	18年度	19年度		数値	根拠	達成度
数値	1,250	1181	69人減	1250	過去5年間の最高値	94.5%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値	-	-	-	-	-

備考	-
----	---

5 評価基準

最新の数値が
 a：過去5年間の最高値以上
 b：過去5年間の最高値と上中間（最高値と平均値の間）の間
 c：過去5年間の上中間と平均値の間
 d：過去5年間の平均値と下中間（平均値と最低値の間）の間
 e：過去5年間の下中間以下

6 基準説明

利用者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較する必要があるため、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
 最高値：1,250（平成18年度）
 平均値：878
 最低値：506（平成14年度）

7 評価結果

18	19	20
a	a	b